

■石を積む■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 135 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

135 目次

1. ブログから：石を積む
2. 今週のお知らせ：笑恵館アパート・入居者募集中
3. まつむら塾
4. 今後の予定：今週・来週以降
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

.....

1. ブログから：石を積む

突然「石を積む」と言われても、あなたには「何のこっちゃ」だと思う。今日は、名栗の森オーナーシップクラブの 11 月例会に参加して、3つの「石を積む」を体験した。一つ目は、山道の途中にあるご神木の周辺整備。二つ目は、名栗湖を堰き止める有馬ダムの石積。三つめはその下流の名栗河原で体験したロックバランスング(石積みアート)。一見、何の脈絡もない体験だが、これらを通じて様々なことを考え、三つが奇妙に絡み合う、そんな今日の体験をここにまとめてみたい。

名栗の森オーナーシップクラブとは、埼玉県飯能市の西部に位置する旧名栗村にある人造湖「名栗湖」の南側に隣接する 15 ヘクタールほどの山林を、長年にわたって放置してきた所有者が、仲間を募ってその利活用に挑むプロジェクトだ。山林を貸すのではなく、全員が所有者として参加するので「オーナーシップクラブ」と命名し、昨年 10 月の発足からちょうど丸一年が経過したところだ。初年度はとにかくこの森の 1 年＝春夏秋冬を体験しようということで、毎月第 4 日曜日に現地で開催し、森の変化を体感した。森の中を通る「関東ふれあいの道」は、棒の折山登山の白谷沢ルートと言われる人気コースで、平日でも頻繁に登山者が通り抜けていく。冬になるとシカやイノシシを追ってハンターたちもやってくるし、クラブの仲間もマムシやツキノワグマに遭遇するなど、奥武蔵山系のほんの入り口だが、十分に「山」を感じることができる森だ。

登山道を 5 分ほど歩くと、道の脇に杉の巨木が現れる。地元の人たちが「ご神木」と呼ぶこの樹の袂には、朽ち

果てた社(やしろ)の残骸が転がっていて、活動を始めた当初から気にはなっていた。森の一年を見守るうちに、その思いは次第に強くなり、2年目の活動は、「まずご神木の周辺整備から始めよう」と誰ともなく言い出した。これに対し、「そもそもご神木とは何なのか」、「僕たちはなぜここを整備したいと願うのか」、と素朴な疑問が湧いてきたのだが、「僕たちが持ち主だから」という根拠の無い答えがとても心地よく、みんなの意見はすぐにまとまった。だが、「ただ何かを祀りたい」では具体案が決まらない。行き詰まった9月の例会で、僕らは少し開き直り、近所の上名栗地区スタンプラリーに参加して集落を探索した。ひっそりとたたずむお寺や神社。こじんまりとした集落に立ち並ぶ古民家を訪ね歩くうちに、ふと足元にある石積みに気が付いた。そうか、人里の環境整備は石積みだ。

というわけで、ご神木の足元を石積みで整備しようということに意見はまとまった。石はもちろん、現地にある石を使い、登山道からご神木を見上げた時に何かを供えたいような基壇を作りたい…と漠然と考えて現地向かった。「登山道に石が無ければ、下の沢から運べばいい」と安易に思っていたけれど、いざ歩き始めると、そこそこに岩がごろごろと転がっていて、一同まずは一安心。足元に転がる「ただの岩」が、こんなに愛おしく思えるなんて、想像もしなかった。石集めは後回しにしてまずはご神木の元にやってきて、石積みを作る場所選びにひと悶着した後、スコープ持参のYさんをリーダーに、石集めと石積作業が始まった。そのあたりに落ちている石を拾い集め、それを積むだけのことなのだが、通りすがりの登山客からの好奇の視線を意識しながら、一同どこか誇らしげに、作業に打ち込んだ。それは明らかに「所有者だから許される特権」を意味していた。

出来上がってみれば、ほんのささやかな石積みで、通りすがりの人には気付いてもらえないかもしれない。でも、僕らにとって、初めての造営は完成した。みんな誇らしげに山を下り、名栗湖を堰き止める有馬ダムの堤で日向ぼっこをしながら弁当にありつくことにした。有馬ダムは、ロックフィルダムという工法で作られており、岩石を積み重ねた表面は、自然石が整然と石垣のように並んでいる。今しがた、ささやかな石積み工事をしてきた僕らにとって、この壮大な工作物は神の仕業にも思えた。僕らが6人がかりで1時間かけた作業量に比べれば、ここからの視界に見える様々な石積みがすべて偉大な仕業に思える。ビジター参加してくれたSさんから、「奥出雲のたたら製鉄の採掘跡が棚田として利用されている」なんて話を聞くと、ダンプもブルドーザーも無い時代の人々の営みのすごさがひしひしと感じられた。

壮大なイメージをしながら日向ぼっこをした後、今度は趣を変えて河原に降り、石積み遊びをみんなに教えた。これは自然の石をいかに不自然に積み上げるかを楽しむ「ロックバルンシング」という一種のアートで、ちょっとしたコツを覚えれば誰でも上達できるし、ハマってしまう。案の定、今日のみんなはたちまち夢中になり、子どもようになってしまった。小さな石の上に大きな石が乗っていたり、三角の石が旗のように立っていたり、「不自然とは何か」を競い合う不思議なゲームが先ほどのご神木の石積みを思い出させた。道行く人に気付いてもらいたい、ご神木への思いを形に表したい…という欲求は、結局「自然の中に不自然をどう作るのか=アート」ということにつながる。借り物は元通りにして返さなければならないが、所有者はそこに何かを創り、残すことが許される。

「賃貸でなく、所有することで世界を創っていく」と、今日も僕の主張につながる「落ち」でした。

<http://nanoni.co.jp/20171126/>

.....

2. 今週のお知らせ：笑恵館アパート・入居者募集中

笑恵館アパートの入居者募集にちょっと苦戦中。

今週も1室退去があり、入居者募集は下記の3室となります。

1. 201号室 住居 70,000円
2. 203号室 住居 68,000円
3. 103号室 シェアオフィス 20,000円(シェア費)

詳しくは、下記をご覧ください。

<http://shokeikan.com/club/residence>

あなたの周辺で、笑恵館に興味をお持ちの方にも是非お伝えください。

.....

3. まつむら塾

■開催予定 講義+演習

笑恵館では毎週土曜日の午後、随時開催いたします。

- ・日程：12/2,9,16（毎週土曜日）12-21時
- ・会場：笑恵館、受講料：3000円/講座・初回無料
- ・予約制：このメールに返信、またはタイムチケットで
<https://www.timeticket.jp/items/39813>

その他会場募集

- ・まつむら塾を開催させてくださる会場を募集しています。
- ・会場提供者は、受講料免除といたします。

■自習室 <http://nanoni.co.jp/juku/>

まつむら塾の講義内容を、自由に閲覧できるサイトです。

■個別メール・まつむら塾

まつむら塾の講義内容について、気軽に質疑を受け付けます。
初回無料、月額3,000円～承ります。

.....

4. 今後の予定：今週・来週以降

凡例 ○面談歓迎：来て下さればあなたの面談を優先。

◎呼出歓迎：あなたのお誘いを優先、訪問可能。

●同行可能：僕の訪問先にお連れします。

★参加可能：あなたも参加可能なイベント。

.....

- (月) 11/27 ○作業日 調査ツアー⑩鎌倉
(火) 11/28 ○作業日 調査ツアー⑪神奈川
(水) 11/29 ○作業日
(木) 11/30 ○作業日 調査ツアー⑫東東京
(金) 12/01 ○作業日 午後から笑恵館で面談可
19-22 時 ★もっと×2 交流ステーション
<http://www.e-town.ne.jp/kounandai/topics/947.html>
(土) 12/02 ○作業日 終日笑恵館で面談可
12-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)
(日) 12/03 ○休業日

■その後のイベント

- 12/08 19-21 時 ★カプラー起業交流会(三茶)
12/09 12-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)
12/14 15-17 時 ★日本土地資源協会 経営会議
12/14 17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議
12/16 12-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)
12/17-19 屋久島旅行(現地で会える人募集中)
12/21 13-16 時 ★笑恵館なるほどデイ
12/24 10-15 時 ★名栗の森オーナーシップクラブ 11 月例会
12/27 17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議
1/06 12-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館・予約制)
1/21-24 シンガポール旅行(現地で会える人募集中)
2/02 19-21 時 ★第 25 回 解決しゃべり会

相談のある人、一杯やりたい人、歓迎です。

松村の予定はこちらで公開しています。<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携 帯 090-9830-3669 taku8823@ezweb.ne.jp

自 宅 株式会社 なのに(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe?u=800df08672d8b31689226516d&id=df33ae0ce9>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>